

令和元年度 戦略的基盤技術高度化支援事業の採択について

国の戦略的基盤技術高度化事業（通称「サポイン事業」）について、当財団が事業管理機関として申請した下記の事業が採択になりましたので、お知らせします。

当財団では、事業管理機関として法認定事業者及び研究等実施機関と連携・協力し事業の推進に努めます。

記

1. 採択内容

計画名	主たる技術	法認定事業者 ※
高収率粒子製造を可能とするインバータ式ハイブリットICP装置開発（計画概要は別紙のとおり）	材料製造プロセス	竹内電機株式会社 （本社：兵庫県尼崎市、 研究開発拠点：松江市）
医療・介護従事者および対象者の負担を軽減する印刷法を基軸とした電極作製技術を用いた使い捨て可能な離床センサーの開発（計画概要は別紙のとおり）	測定計測	日本電子精機株式会社 （本社：奈良県香芝市、 研究開発拠点：松江市）

※法認定事業者が主体となり、大学等の研究等実施機関と共同で計画を実施

2. 事業概要

戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）は、ものづくり基盤技術の高度化を図ることを目的として、中小企業・小規模事業者が大学・公設試等の研究機関等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発や試作品開発などの取組みを支援するものです。

【制度概要】

- ・事業期間 2年度又は3年度
- ・補助上限 単年度4,500万円
※2年度事業の場合は合計7,500万円以下
3年度事業の場合は、合計9,750万円以下
- ・補助率 2/3（ただし、大学・公設試等の場合は定額）

【採択状況】

- ・今回、全国で申請304件、採択137件
- ・中国管内では、申請16件、採択11件
→詳細は中国経済産業局発表資料でご確認ください。

https://www.chugoku.meti.go.jp/koubo/indus_tech/190604.html

3. 事業管理機関とは

- ・研究開発計画等の運営管理や国との総合的な連絡窓口を行います。

(別紙)

計画名	高収率粒子製造を可能とするインバータ式ハイブリッド ICP 装置開発
法認定事業者	竹内電機株式会社 (本社：兵庫県尼崎市、研究開発拠点：松江市)
主たるプロセス	材料製造プロセス
研究開発概要	高精度積層造形向け原料粒子の製造プロセスには、高生産性によるコスト低減と大量生産への対応と共に、酸化防止を含む粒子の高品質化が求められる。これらニーズに対応すべく、本課題では、高効率加熱と高い安定性での多量処理を実現するハイブリッド ICP 装置の開発導入と、高品質非酸化粒子の高効率回収と高機能化に資する粒子構造化を可能とする雰囲気制御技術を連成させたプラズマプレー技術の確立を目指す。

計画名	医療・介護従事者および対象者の負担を軽減する印刷法を基軸とした電極作製技術を用いた使い捨て可能な離床センサーの開発
法認定事業者	日本電子精機株式会社 (本社：奈良県香芝市、研究開発拠点：松江市)
主たるプロセス	測定計測
研究開発概要	介護・医療の現場で使用されている離床センサーにおいてベッド上にセットする防水シートに日本電子精機(株)が保有する印刷技術とこれまで進めてきたセンサー技術を合わせてセンサーを作製し、使い捨て可能な離床センサーとすることで、要介護者が違和感なく使用でき、介護者にとっては取り扱いを簡便にして介護者の日常作業に負担をかけない離床センサーを提供する。